

資料2 平成29年度 生駒市環境モデル都市 取組実績

都市構造の再設計	省エネルギーフォーム支援	住宅省エネルギー改修工事補助（建築課）（実績 30件） 集合住宅共用部LED化補助金（実績 12件）
	中古戸建て住宅のリノベーション	既存住宅流通等促進奨励金（建築課）（実績 10件）
	高齢者にやさしいコンパクトシティの整備	学研北生駒駅中心地区まちづくり事業計画会議を3回実施し、まちづくりに向けての方向性を共有（都市計画課）
資源循環・エネルギー自給システムの構築	資源循環・エネルギー自給に関する市民の啓発	全額市民出資による市民共同発電所を運営する「市民エネルギー生駒」が市民共同発電所4号機を完成、稼働を開始（発電容量:85kW） NPO団体を活用した体験授業を行う「エコキッズ」事業を実施 国際NGOであるFEEが実施する環境学習プログラム「エコスクール」の取組を継続実施 エコボーナス制度を全小中学校で継続実施 包括連携協定を締結した近畿大学と連携し、生駒南小学校にて大学生と協働で参加型の環境教育プログラムを実施
	省エネルギー診断の推進	省エネルギー診断（うちエコ診断）の実施（参加者 48名）
	太陽光発電システムの加速度的普及促進	太陽光発電普及促進事業補助 ・平成29年度 1kWあたり2万円（実績 102件） 家庭用蓄電システム設置補助 ・平成29年度 1kWhあたり2万円（実績 40件）
	燃料電池・コージェネレーションの導入支援	家庭用燃料電池設置補助（継続） ・平成28年度 1件あたり7万円（実績 197件）
	新電力・地域エネルギー会社の設立検討	「いこま市民パワー株式会社」による、市内公共施設及び、民間事業所への電力供給を開始し、平成29年度末時点で63施設へ4,023,577kWhを供給
	ICTを活用したコミュニティサービスの推進	各種EMS導入支援 住宅用エネルギー管理システム（HEMS）設置補助（継続） ・平成29年度 1件あたり上限2万円（実績 31件）
食のバリューチェーン構築	資源循環の拠点となるエネルギー&バイオセンターの設立検討 食のバリューチェーン構築については、事業化可能性調査の結果、施設整備のインシヤルコストや事業検討地の整備時期を踏まえながら、引き続き慎重な検討を進めている。 市内造園業者を交えた産学官の連携を計画していたが、近畿大学からの提案によりバイオコークスの製造方法、活用方法の最適化を図るため、スキームの再構築を行っている。	
コミュニティ交通システムの再構築	電気自動車の普及促進	市内の5箇所（市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター）に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用 家庭用蓄電システム設置補助（新設）でV2H設置費用の一部補助
	超小型モビリティの導入検討	超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続（健康課）
	モビリティ・マネジメントの導入	コミュニティバスの運用 ECO-net生駒と協力し自転車利用ネットワークマップ「くるりんいこま」を作成